

大分市立明野西小学校 学力向上プラン 1 (8月)

学校教育 目標	個性と創造性に富み、心身ともにたくましいこどもの育成 自立×自律→協働的な問題解決力を伸ばす
育成を目指す 資質・能力	学ぶことのおもしろさを感じ、学ぼうとする意欲を育てる授業づくりを通して、確かな学力の定着・向上を図る

	学力状況について	学習状況について
児童 生徒 の 課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・国語、算数、理科、全ての項目で全国平均を上回っていた。 ・文章を読み取って答えたり、自分の考えを文章に書いたりする問題が苦手であることが分かった。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○課題を的確につかみ、自分の考えを表現する力の育成。 ・学年段階に応じた書く・読む活動の日常化の必要性。 ・日常生活と結び付けた学習内容の工夫。 ・家庭学習の効果的な活用。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・授業づくりの中でUD・ICT機器をデザインし、「自分の考えを友だちに伝えた」とする児童の割合は88%であった。 ・低学力層(正答率60%未満)の児童の割合は、目標設定は6%以下であるが、国語は4%、算数は6%であった。 ・個に応じた家庭学習を工夫し、家庭と連携して課題提出率を90%とする目標設定に対して94%であった。	
指導 の 状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・落ち着いた学習ができるように、年度初めに学習規律、板書とノートの基本の型を学校で統一している。また、週初めに「学習道具調べ」を行っている。 ・計画的に行う検証授業を通して、「分かりやすい板書」や「ユニバーサルデザインの授業」についても学び、確かな学力の定着・向上につないでいる。また、シェアタイム、つながりタイム、振り返りの視点などについて共通理解を行いながら授業改善に努めている。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・家庭学習の手引きを新1年生の家庭へ配布(2年生以上は配布済み)し、学級懇談で説明し、家庭との連携に努めている。 ・定期的なミニテストの実施、やり直しの徹底などを行うことで、個別の学習状況をつかみ、補充指導を行っている。	

学力に関する達成指標

授業が分かる・楽しいと感じる児童90%以上

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の 具体的 な取組	〈授業改善のテーマ・重点〉 学ぶことのおもしろさを感じ、学ぼうとする意欲を育てる授業づくりを通して、確かな学力の定着、向上を図る。	
	〈取組内容〉 ・毎時間の授業にUD、ICT機器をデザインし、基礎・基本が身に付く授業を行う。 ・一斉授業の中での個に応じた支援やシェアタイム、つながりタイムによる学び合いを行う。 ・文章の読み取りや書く力の育成に向けて、学年の発達の段階に応じて、文章の中のキーワードに印を付けるなど、言葉同士の関係や文と文とのつながりが理解できるように指導する。	〈家庭・地域の取組内容〉 ・教育目標や経営方針、教育活動の理解。 ・学校と連携・協働して、教育活動の推進に努力する。
	〈取組指標〉 ・児童の思考の流れに沿った「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を板書に位置付けるとともに、ICT機器を効果的に活用する。 ・自分の考えをもたせた上で考えを交流する場(シェアタイム、つながりタイム)を、1日に1回以上設定する。 ・ホワイトボードやICT機器の効果的な活用を週3回以上行う。	〈家庭・地域の取組指標〉 ・学校からの文書等や各種行事等でこどもの様子から、児童の学校での様子を把握するとともに、学級懇談・学校運営協議会等で意見を言う。 ・児童の家庭学習の状況を把握する。
	〈検証指標〉 ・児童アンケート「授業が楽しい」と感じる児童を90%以上 ・思考・判断・表現の力を付けるとともに、低学力層(60点未満)を6%以下	〈家庭・地域の検証指標〉 ・家庭学習の状況の把握、課題提出率90%以上
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ○教室掲示の厳選と充実 ○フレンドリータイムを月2回以上実施 ○道徳授業の充実による安心して学べる学級づくり ○ドリルを複数回取り扱うことで学習内容の定着を図る。 ○学習内容の定着を目指した家庭学習(ICT機器などの活用) ○「家庭学習の手引き」(明野中学校区 小中一貫)を活用し、4校揃った指導を行う	